

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

|      | 単位 | 2019/12/31 | 2020/8/31 | 2020/9/18 | 過去3年高値    |           | 過去3年安値    |           |
|------|----|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|      |    | (前年末)      | (前月末)     | (前週末)     | 水準        | 日付        | 水準        | 日付        |
| 日経平均 | 円  | 23,656.62  | 23,139.76 | 23,360.30 | 24,448.07 | 2018/10/2 | 16,358.19 | 2020/3/19 |
| NYダウ | ドル | 28,538.44  | 28,430.05 | 27,657.42 | 29,568.57 | 2020/2/12 | 18,213.65 | 2020/3/23 |
| 円/ドル | 円  | 108.61     | 105.91    | 104.57    | 114.73    | 2017/11/6 | 101.19    | 2020/3/9  |

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

~ 相対的に出遅れていた日本株への見直し買いなどが支えとなり、底堅く推移 ~

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が▲46.19円(▲0.20%)、TOPIXが+9.78ポイント(+0.60%)となり、相対的に出遅れていた日本株への見直し買いなどが支えとなり、底堅く推移しました。業種別(東証33業種)でみると、情報・通信業、サービス業、パルプ・紙などの19業種が上昇した一方、海運業、鉱業、空運業などの14業種が下落しました。週初の14日は、米株価指数の先物相場が堅調に推移していたことを受け、米IT関連銘柄の調整が一巡したとの見方が強まったことなどから、上昇して始まりました。その後は、①自民党総裁選挙において事前予想通り菅氏が勝利したことを受け、新政権に対する期待感などの好材料が出尽くしたとの見方が強まったこと、②FOMC(米連邦公開市場委員会)後の会見でパウエルFRB(米連邦準備理事会)議長が量的緩和の強化を示唆しなかったことから、追加金融緩和策に対する期待が後退したこと、③円高が進行したことなどを背景に軟調に推移しました。週末18日には、米国株市場においてIT関連銘柄を中心に下落したことは重しとなりましたが、相対的にIT関連銘柄の比率が低くこれまでに出遅れていた日本株に海外投資家が買いを入れたことなどから、上昇して引けました。

3. 今週の主な予定

| 日程    | 曜日  | 国・地域 | 項目                            | 前回 |        |
|-------|-----|------|-------------------------------|----|--------|
| 9月23日 | Wed | 欧州   | ユーロ圏製造業PMI(購買担当者景気指数)         | 9月 | 51.7   |
|       |     |      | ユーロ圏サービス業PMI                  | 9月 | 50.5   |
| 9月24日 | Thu | 米国   | パウエルFRB議長、議会証言(23日:下院、24日:上院) |    |        |
|       |     | 日本   | 内閣府、月例経済報告                    |    |        |
|       |     | 欧州   | ECB(欧州中央銀行)経済報告               |    |        |
|       |     | ドイツ  | 臨時EU(欧州連合)首脳会議(25日まで)         |    |        |
| 9月25日 | Fri | ドイツ  | IFO企業景況感指数                    | 9月 | 92.6   |
|       |     | 米国   | 新築住宅販売件数                      | 8月 | 901千件  |
| 9月25日 | Fri | 米国   | 耐久財受注(前月比)                    | 8月 | +11.4% |

決算発表予定 他 なし

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

~ 大規模な金融緩和策などが下支えに働き、底堅く推移 ~

今週の日本株市場は、新型コロナウイルスの感染再拡大や政治的不透明感が上値抑制に働くも、大規模な金融緩和策などが下支えに働き、底堅く推移するとみています。

①欧州において新型コロナウイルスの新規感染者数が再拡大していること、②米国の追加財政政策を巡る協議が難航していること、③米中関係の悪化懸念が強まっていることなどは、株価の上値抑制要因として働くとみています。一方、①欧州諸国では春先のような都市封鎖などの強硬な措置は回避され、感染抑制と経済活動を両立させる対応がとられるとみていること、②先週パウエルFRB議長は追加金融緩和策に言及しなかったものの、想定以上のペースで景気が回復していることが背景にあり、今週の議会証言においては景気回復ペースが鈍化すれば追加対策を導入する政策スタンスを維持するとみていることなどから、株価の下値はサポートされ底堅く推移するとみています。

その他の注目材料として、米国では24日に新築住宅販売件数、25日に耐久財受注、欧州では23日にユーロ圏製造業・サービス業PMI、ドイツでは24日にIFO企業景況感指数などが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社  
Asahi Life Asset Management Co., Ltd.  
URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会